

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 22日

事業所名 こどもプラス豊見城教室別館(単位Ⅱ(ことのは別館))

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	4	0	5	部屋は狭いが、事 務所と遊ぶスペースを棚で仕切っ ている。大人と一緒に使用して欲しい おもちゃや道具などは事務所に保管 し、声かけをして貰う等児童の発達段 階に合わせ環境や関わり方を都度共 有し対応を検討している。	
	2	職員の配置数は適切である	7	0	2	主に個別の対応を しているため人員配置としては充分 であると考えている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	7	0	2	おもちゃ入れのカ ラーBOXや勉強機 が可動式になって いるので、子ども 達に合わせて配置 を変えている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	8	0	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	毎年この自己評価 を参考にしたり保 護者からの要望等 をもとに業務改善 している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	9	0	0	毎年この自己評価 を参考にしたり保 護者からの要望等 をもとに業務改善 をしている。HP公 表も行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8	0	1		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	9	0	0	グループ全体で情 報交換会を月2回 行っている。またセ ラピスト勉強会を 月に1回、事業所 内でもスタッフ間で 必要な勉強会を 実施している。	
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	個別支援計画書 をもとに毎月の目 標設定、課題評価 等を言語聴覚士の 意見も交え、児童 発達支援管理責任 者が行っている。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	0	初回利用時には感覚統合理論スクリーニングシート、初期評価シートをもとに記録を行いスタッフ間での情報共有を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	朝礼、昼礼にて児童の特性や最近の様子を共有し活動内容等を確認し合っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	主に個別のニーズに合わせた遊びの展開を行っています。また、社会性を広げる目的で発達段階に合わせた小集団での活動や公園へのお出かけ、お買い物等を行っています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	朝礼、昼礼にて児童の特性や最近の様子を共有し活動内容等を確認し合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	朝礼、昼礼、終礼にて児童の特性や最近の様子を共有し活動内容等を確認し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	支援会議を行い子ども達の課題の見直しを行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0	0			
関係 機関 や 保護 者 との 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	0	7	該当児童無し。	必要な児童が利用される場合は連携を図りたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	0	2	必要に応じて相互理解を図っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	0	2		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	2		必要があれば連携を図っていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	0	1		交流は行っていないが、公園などの園外活動にて機会があれば交流を図っている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
連携	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	0	1		取締役が隣町の自立支援協議会全体会の委員として参加しているが、次年度は糸満市の自立支援協議会などの参加を検討している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	1	お迎えの際に直接話をしたり、公式LINEや電話で伝えられている。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0	4	必要に応じて関係機関との情報共有も行いながら必要なサポートを行っている。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	1	ご契約の際に重要事項のご説明を管理者が保護者へ行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	1	保護者から頂いた内容をスタッフ間で一度共有し、返答内容を話し合い保護者へお返事している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	9		今後は保護者会の開催を検討していきたい。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	1	申し入れがあれば会社内にて共有し改善している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	3	公式LINEにて避難訓練の報告や、ブログにて活動の報告をしている。	
	35 個人情報に十分注意している	9	0	0		
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0		
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0	3		
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	2	教室内にて保管し職員間にて共有することで有事の際には対応できるようにしている。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	火災を想定した避難訓練、通報訓練を実施している。今後、不審者対策や救命訓練等も検討する。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	1		
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	3		必要な児童については保護者の承諾の元、身体拘束の同意書をいただく対応をする。現在までに該当者なし。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	3	初回利用時、アセスメントシートを基に保護者と確認を行っている。	
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	会社内にて共有して再発の予防に努めている。		